

広報がもう

「このまちで、心豊かに住み続けたい」と



思えるまちづくり

# がまちヨコ



蒲生地区まちづくり協議会 チョコットニュース <https://www.gamoyume.org>

発行者：東近江市 蒲生地区まちづくり協議会・広報企画委員会 住所：東近江市市子川原町461-1 蒲生コミュニティセンター内 TEL / FAX : 0748-55-3030

## 蒲生地区まちづくりフォーラム ～ 設立 15 周年記念 ～

蒲生地区まちづくり協議会が、平成 18 年 11 月に設立されて本年で 15 周年を迎えるに当たり、11 月 23 日に、「蒲生地区まちづくり協議会設立 15 周年記念フォーラム」を開催しました。小椋東近江市長はじめ来賓の皆様のご臨席を賜り、会場には多数の自治会長、各種団体、行政、住民の皆さんに出席いただきました。

オープニングでは、音楽を通して地域住民に火災予防の啓発など、消防の広報活動をされている東近江行政組合消防音楽隊による「琵琶湖周航の歌」など素晴らしい心にしみる圧巻の演奏をご披露いただきました。

式典では、蒲生地区まちづくり協議会佐川会長より『地域を包括する認定団体として「食」「エネルギー」「ケア」の視点を加え、2030 年の将来像を示したまちづくり計画に基づき、様々な地域課題に取り組み、豊かな暮らしの実現に努めてまいります』と挨拶しました。



来賓を代表して、市長より「蒲生地区は、古代から近代までの歴史文化や地域資源溢れる地域である。今日までの蒲生地区まちづくり協議会の取り組みに敬意を表し、更なる活力ある地域社会にむけ、行政との協働のまちづくりに邁進していただきたい。」と期待とエールを込めた祝辞をいただきました。

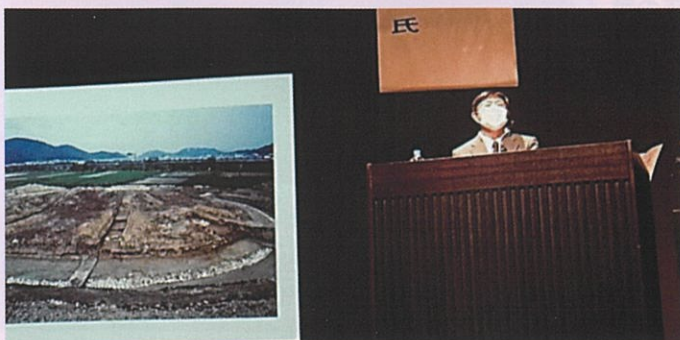
講演会では、考古学・古代史学者、滋賀大学名誉教授の小笠原好彦氏に「～蒲生の遺跡・文化財とまちづくり～」と題して、3つの視点 ①蒲生郡の古墳時代の遺跡と歴史 ②蒲生郡の古代の遺跡と歴史 ③古代の遺跡・文化財と今日について詳しくお話いただきました。雪野山古墳、木村古墳群、雪野寺跡、宮井廃寺など、古墳や古代に築造された遺跡について大変興味深く聞き入りました。この地は、古代の歴史、遺跡の宝庫である。古代の遺跡は、作れるものではない。近江の中でも蒲生野地域は優れた歴史文化、史跡がある。現在から未来にどう継承しながら新しいものの創造へ繋げるためには、

- 1, ケンサイ塚古墳の復元
  - 2, 雪野山周辺の集落のうち「市子遺跡」が最も広い方形周溝墓である。東屋など備えた「史跡公園」として現在に蘇らす
  - 3, 宮井廃寺は、国の遺跡に値する。まず、市の指定文化財に、行政、まち協から教育委員会へ発信してほしい
- とご示唆いただいた。

永年蒲生の古墳、遺跡に関わっていただき、多くの遺跡、文化財に精通された先生の熱い思いを受け、行政、まち協が協働で出来る事から取り組んでいく思いを新たにしました。

本日の設立 15 周年を契機として、更なる地域課題に対応する事業運営に、行政をはじめ皆さま方の格別のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【蒲生地区まちづくり協議会】

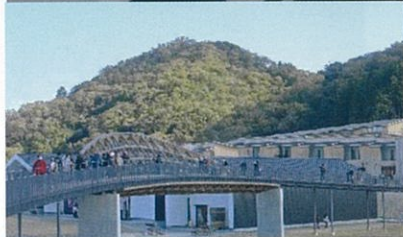


## 蒲生スマートインターチェンジの よい発展を願って！

蒲生 SIC (スマートインターチェンジ) が供用開始され、12月22日で9年目を迎えることとなりました。この間、まちづくり協議会では事あるごとに周辺土地の有効活用と SIC を活用したまちづくりの模索を行ってまいりました。おかげさまで通行台数は令和元年度 4,395 台/日 (滋賀県調) の通行があり、利便性から計画台数 (2,600 台/日) を大きく上回っています。

しかし SIC の効果が活用されていない状況が続いています。市では新たに黒丸 PA にも SIC の計画がされ国からの連結許可が下りました。

そこで蒲生 SIC に隣接する蒲生・平田地区まちづくり協議会は、本年度よりプロジェクトチームを設立し、蒲生 SIC のより発展を目指す活動を始めました。



今日まで3回の協議を踏まえ、活用したまちづくりに取り組んでいる三重県多気町に研修に伺いました。多気町は高校生レストランでも有名になった町です。伊勢自動車道の勢和多気 JCT (ジャンクション) 付近に民間企業【VISON】が SIC を設置されました。近くに勢和多気 IC もあります。条件は蒲生と違い山の中の商業リゾート施設であり開発にかかる土地利用条件が大きく違いますが、地域物産を取り扱う「癒・食・知」を備えた美しい村が誕生していました。

今後も両まちづくり協議会が共通の課題として、夢を見ながら色々な取り組みを模索してまいります。

【蒲生 SIC 活用プロジェクト会議】

## ぶらい 近江鉄道 シリーズ ガチャコンに乗って

(近江めぐりスタンプラリー編)

「近江鉄道でゆく 歴史体感 近江めぐりスタンプラリー」が2022年1月16日までの期間で実施されている。

全線を使って 18 カ所のスタンプポイントを設置、5ポイントゲットでも近江鉄道グッズがもらえるが、ぜひ全箇所制覇をしてみたい。



蒲生地区まちづくり協議会 (広報企画委員会)

## 「野謙記 ⑨」

昭和 14 年 12 月 12 日 (火) 晴

文展みる (注 1)。八幡の人々に出会う。僕の画も良いところに掛けてあって安心した。これはと云う程のものもない様だ、日本の美術も今後の努力を要する。

数にならねど、その一つの分子として吾々も命をかけて精進せねばならぬ。日本画の方もどうも表面だのことにて心にふれるものがすくない。

みづゑの特異児童作品特輯 (注 2) を見ておどろく。これは或いはいわゆる特異な神話から出たもので、すこし吾々と違った点があるかもしれないが、自然に対する驚きがそこにある。文展の日本画にはそれが無い。考ふべきことである。

〔注釈〕

注 1: ここでの文展とは、新文展をさします。官設美術展覧会は、明治 40 年、文部省美術展覧会 (通称: 文展) に始まり、大正 8 年に帝国美術院展覧会 (通称: 帝展) に改められ、昭和 12 年から文部省主催の文部省美術展覧会 (通称: 新文展) と改名され、戦後は日本美術展覧会 (通称: 日展) へと続いています。

野口画伯は、帝展で 3 回の特選を得たことにより、この年の第 3 回新文展は無鑑査で「太陽と村落」を出品しています。

10 月に東京府美術館で開催された後、京都陳列会として開催された展覧会を観覧しました。

注 2: 「みづゑ」は美術雑誌で、千葉・市川の八幡学園 (知的障害児施設) の子どもたちの作品展が特集されました。作品の中でも特に放浪の画家や日本のゴッホと呼ばれた山下清の貼絵が注目されました。



太陽と村落 50 号 この作品は蒲生西小学校体育館の緞帳のモチーフになりました。

蒲生地区まちづくり協議会  
(万葉ロマンの里づくり部会)

## 里山のムシ探し

～ ムシのいろいろを知りました！ ～

11月14日(日)蒲生岡本町の梵釈寺で、梵シユール里山保全クラブの主催する「昆虫博士モッチー先生(※)と里山のムシ探しをしよう!!」が行われ、23名の親子が参加されました。

モッチー先生から虫の秘密や捕り方の話を聞き、虫捕りあみ、虫かごを持ち裏山にいざ虫探し。子どもたちは木の枝や落ち葉をかき分け、素手やあみを上手に使って捕まえては、大きな歓声をあげていました。捕まえた種類は、チョウ、カマキリ、バッタ、イナゴ、カナヘビ等でした。その後は、捕まえた虫の観察です、モッチー先生からバッタとイナゴの見分け方の話や、図鑑を見て虫のいろいろを知り、虫の魅力をいっぱい知った事でしょう!

里山のムシ探しの最後は、次回開催予定の「春のムシ探し」を楽しみに、捕まえた虫たちを自然に帰してあげました。  
※望月光貴さん  
ピオトープ管理士で、里山保全を経験し、観察会などの自然活動行っている。



蒲生地区まちづくり協議会 (広報企画委員会)

## 新型コロナウイルスと共に暮らす ～正しく恐れよう～



感染者も減少傾向となり、少し肩の力を抜いて生活することができるようになりました。しかし、新たな変異株も見つかり、感染症対策はもう少し行わないといけないですね。外出時の感染症対策として、以下のことが挙げられています。

- ・マスクや手洗いの徹底に努めましょう。
- ・感染状況を十分に留意し、慎重に行動しましょう。
- ・観光地では、人と人の距離を十分にあげましょう。
- ・発熱等の症状があるときは、イベントには参加するのはひかえましょう。

新しい生活様式にも慣れてきましたが、早くマスクもなく、顔を見て話せることができるようになるとうれしいですね。

蒲生地区まちづくり協議会 (広報企画委員会)

## わいが屋@せせらぎで楽しいひと時を♪

気軽に立ち寄って、ワイワイガヤガヤ思い思いに過ごせる“みんなの拠り所”『わいが屋@せせらぎ』。蒲生地区のみなさんの「できる」や「得意」を活かした楽しい企画を考えています。今回はニュースポーツです。皆さんで楽しく身体を動かしましょう♪

10:00～11:30  
1/21 (金) おもちゃ図書館  
13:30～15:00

コーヒー  
100円



『ニュースポーツで身体を動かそう!♪』

場所  
問合せ

東近江市社会福祉協議会

蒲生事務所せせらぎ

東近江市市子川原町 676-1

☎ 0748-55-4895 IP 050-5802-2528

再  
発  
見

連載

# がもうの話

蒲生地区まちづくり協議会  
(万葉ロマンの里づくり部会)

102

## 蒲生に残る江戸時代の石鳥居

鳥居は一般の土地と神域とを画するために、神社の入り口などに建てられる。古くは木で造られたが、時代が降るとともに柱根が朽ちないようにと石で造られるようになった。蒲生地区には、江戸時代に造られた石鳥居が3カ所に見られる。大塚の八幡社、稲垂の諏訪神社、蒲生岡本の高木神社である。形態は、2本の柱の上に笠木と島木を渡し、柱の上方に貫を渡す明神系鳥居である。

大塚八幡社のものには右の柱の正面に正徳2(1712)年3月の文字を彫り込んでいる。諏訪神社のものには左の柱の背面に安政7(1860)年3月とある。両方とも春の大祭時に建てられたと思われる。高木神社のものには年号の刻銘はないが、石の加工の具合などから、江戸時代に遡る

ものと推測される。石材は、いずれも花崗岩で、石工の名前などは見られない。

鳥居は地震で転倒することも多く、300年前、150年前のものが現存すること自体貴重なことである。なお、東近江市域では平田地区に江戸時代前期・中期の石鳥居が数カ所に見られ、近江八幡市岩倉の石材・石工との関係が推測されている。



大塚八幡社石鳥居

FM815 Radio Sweet (FMラジオ・81.5MHzでON AIR!)

蒲生地区まちづくり協議会 情報番組

# Happy Gamo

毎月第2土曜日

午前 11:00~11:30

1月8日(土) 放送予定

まち協新年の抱負

### ■蒲生地区の人口

(令和3年12月1日現在)

人口 : 14,390人 (-28)

男性 : 7,104人 (-21)

女性 : 7,286人 (-7)

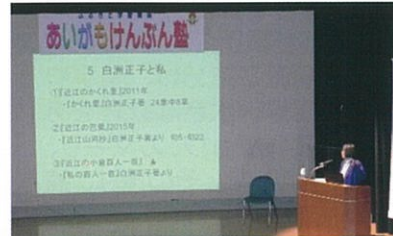
世帯数 : 5,378 (-8)

※ ( ) 内は前月比

~近江の良さを全国に!!~  
ふるさと学習講座



## あいがもけんぶん塾



いかいゆり子 氏

11月28日(日)午後1時30分より、蒲生コミュニティセンター・小ホールにおいて、コロナウイルス緊急事態宣言のため延期となっていました、ふるさと学習講座「あいがもけんぶん塾」の令和3年度4回目が開催され、いかいゆり子さん(近江文学研究家)を講師に迎え、「白洲正子に導かれて 近江文学紀行」と題した講義がありました。

紀行文集『かくれ里』を記した白洲正子の足跡をたどり、講師自らの追体験で得た新たな発見や感動を、白洲正子の文章と比較しながら、また自ら撮影された貴重な写真をまじえて、話をしてい

ただきました。滋賀の人にも近江の良さを発見してほしい、近江のすばらしさを滋賀の人はもちろん、全国の人々にも知ってもらいたいという熱い思いが感じられる内容でした。

受講された方からは、「白洲正子という人の近江愛をいまさらながら感じさせてもらった」や「奈良や京都よりも本当の魅力のある“近江”をもっと世の中に知ってほしいと思いました」など、大変好評でした。

今年度のあいがもけんぶん塾は、今回で終了となりました。多くの方に受講していただき、ありがとうございました。次年度も皆さんに興味を持ってもらえるような講座を開催したいと考えていますので、ご参加のほどよろしくお祈りします。

【蒲生コミュニティセンター】

### 伝統の駅舎清掃



11月14日(日)に、本年度2回目となる駅舎清掃作業を中学生79名、先生9名、一般の方31名の計119名の参加で天候にも恵まれて実施することができました。

中学生も一般の方も本当に喜んで参加しているのが、作業を見てもよくわかり、短い時間でしたが手際よく作業してもらい予想以上にきれいになりました。

最後に中学生の皆さんに模造紙へ寄せ書きを書いてもらいました。駅舎清掃のボランティア活動が楽しかったと中学生からの声を聞きました。ボランティアの楽しさを少しでもわかってもらえたこと、そして伝統の駅舎清掃がこれからも続いていくことを、嬉しく誇りに思います。皆さんありがとうございました。



【青少年育成市民会議蒲生支部 環境浄化部会】

### 蒲生コミセンだより

各種催し物の詳細は、蒲生コミセンHPをご覧ください

#### レコード音楽を楽しもう♪

12月26日(日)14:00~

1月9日(日)・23日(日)14:00~



#### 人形劇鑑賞会(京芸★のほほんカーニバル★)

1月23日(日)11:20開演

#### 第22回あかね年賀状展

1月15日(土)~1月31日(月)

#### 蒲生わいわいサロン

1月19日(水)10:00~12:00

#### ■年末年始休館日のお知らせ

12月29日(水)~1月3日(月)

蒲生まち協会員は、蒲生地区に住んでいる一人ひとりが会員です。



HPのQRコード

がまチョコに皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい。

Email: gamomachikyo@e-omi.ne.jp TEL/FAX:0748-55-3030

←がまチョコのバックナンバーも見られます。

蒲生地区まちづくり協議会(広報企画委員会)